

# 地域医療連携だより

## 7月号 第36号



正面玄関の色鮮やかなアジサイが、患者さまをお出迎えしています。

### Topics

#### ■ 診療科紹介 脳神経外科・血管内治療科

当院『脳神経外科・血管内治療科』について  
専門外来のお知らせ  
脳神経外科領域の疾患  
外来担当表

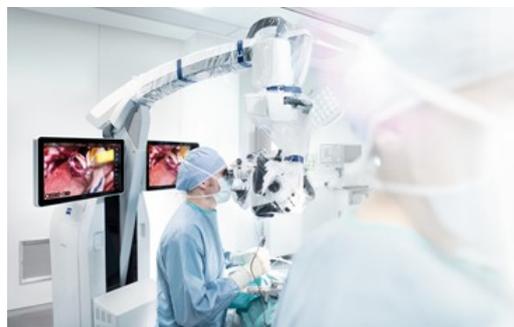
## 診療科紹介 脳神経外科・血管内治療科

### 当院『脳神経外科・血管内治療科』 について

2023年から当科は「脳神経外科・血管内治療科」に標榜を変更し、常勤医5名、非常勤医1名の計6名の脳神経外科医師を中心に、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）や頭部外傷、脳腫瘍、水頭症、慢性硬膜下血腫など、脳神経脊髄疾患の患者さんを診療しています。中規模病院ですので、迅速で、小回りが利くのが当院のメリットです。救急患者の受け入れは24時間365日可能で、屋上にはヘリポートも完備していますので、遠方への移送もできます。

脳血管内治療指導医1名に加え、血栓回収実施医2名が常に勤務しており、脳梗塞をはじめ、脳動脈瘤破裂、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、頸動脈狭窄症、頭蓋内外動脈狭窄症、慢性硬膜下血腫、脳腫瘍などに対する血管内治療(IVR)はいつでも施行可能です。

また高額医療器械として、血管撮影装置は2023年シーメンス社バイプレーンに新規更新され、より高画質な画像を提供できるようになりました。また、2024年春にカールツァイス社KINEVO900手術顕微鏡を追加購入し、従来の接眼レンズでの手術以外に、外視鏡での手術もできるようになりました。4K画像という高画質な3Dモニター機能、術者の負担軽減、手術室内スタッフとの画像の共有ができるなど多くの利点を有しています。



手術顕微鏡KINEVO900外視鏡付き(カールツァイス社提供)

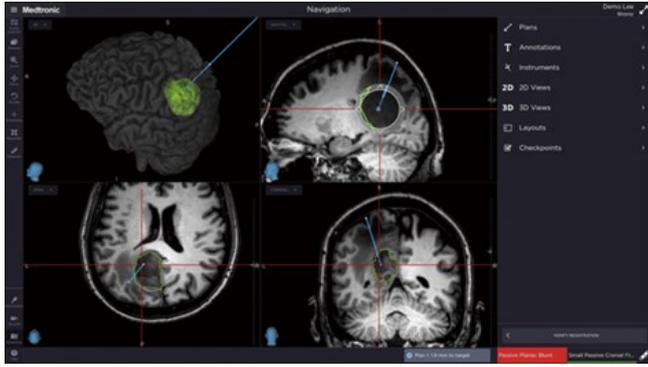
術中ナビゲーションシステムは、最新型ステルスステーションS8に更新いたしましたので、より安全かつ正確で、時間もかからない手術を提供できるようになりました。

# 脳神経外科領域の疾患

## 脳卒中

脳卒中・神経センターを開設し、脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血患者さんに迅速に対応しています。神経内科医2名（浦井医師、向井医師）と連携し、計7名の医師でカンファレンスを開き、診断困難例や治療方針などを話し合っチーム診療で行っています。

脳梗塞は、内科的治療が基本ですが、発症から4.5時間以内の場合はtPA（tissue plasminogen activator）静脈内投与で閉塞血管の再開通を図ります。また発症から6時間以内の場合、緊急血管内手術で血管再開通させるようにしています。6時間以降の場合や発症時間が不明の場合でも、造影MRI灌流画像を行い、まだ救済できる脳組織があるのか（ミスマッチ）を見つけだし、あれば再開通療法を試みる方法を採用しています。このミスマッチを見つけるMRIソフトウェアが最近当院に導入されましたので、必要時には稼働します。適応があれば、ただちに血管内手術を行います。頸動脈が高度に細い場合には、緊急でステント拡張させ、術後は抗血栓薬やリハビリを早期に開始します。脳出血に対しては、まずは血圧を下げ、脳浮腫の薬、リハビリを行います。血腫が大きく意識障害が強い場合には、開頭血腫除去術もしくは穿頭による血腫除去術、脳室ドレナージ術などを行います。くも膜下出血の場合は、動脈瘤コイル塞栓術や開頭ネッククリッピング術で出血源を処理し、術後は全身管理、リハビリに加え、新しい薬クラゾセタンで脳血管攣縮の発生を予防します。脳ドックやスクリーニング検査で見つかった破裂していない脳動脈瘤は、5mm以上の大きさであれば、コイル塞栓術やステント併用



ステルスステーションS8（メドトロニック社提供）

## 専門外来のお知らせ

### ①てんかん専門外来 月2回

第1、3木曜日 14時～17時

（徳島大学 藤原敏孝医師）

オンライン診療（遠隔連携診療）も可。※予約制



### ②脳血管内治療外来 毎週木曜日午前中

（松原俊二診療部長）

動脈瘤、血管奇形、頭頸部脳動脈狭窄・閉塞症、慢性硬膜下血腫再発例、もやもや病などご紹介ください。予約なしでもOK。

### ③頭痛漢方外来 毎週金曜日 13時半～16時

（四方英二医長）

漢方薬を中心とした東洋医学的治療を行っています。

での塞栓術やフローダイバーター（パイプラインTM）を使った血管内治療が適応になります。ただし5mm以下でも、不整形や増大傾向の場合には患者さんの意向によっては、手術を考慮します。もやもや病は病期が進行し、症状がある患者さんでは側頭部の直接もしくは間接バイパス術が適応になります。

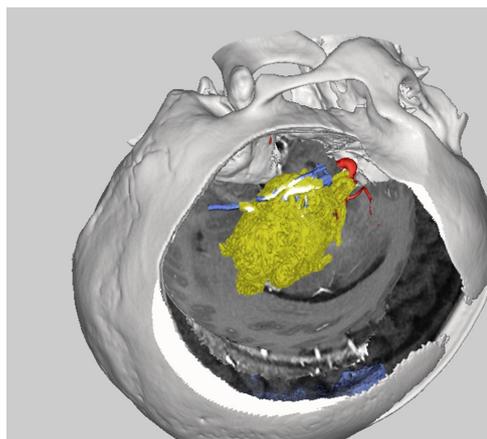


## 頭部外傷、慢性硬膜下血腫

頭蓋内出血や脳挫傷などの急を要する場合はもちろんのこと、転落転倒による頭部打撲、交通事故後の治療も行っています。単純レントゲン写真、CT.MRI検査もすぐに撮影できます。高齢者は慢性硬膜下血腫を後日発症することがしばしばみられますので、数ヶ月後までフォローアップします。特に抗血栓薬を飲んでいる方は発症率が高いのでより注意が必要になります。最近では、再発例には栄養血管の塞栓術を追加することもあります。

## 脳腫瘍

髄膜腫、神経膠腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、転移性脳腫瘍、悪性リンパ腫、胚細胞腫、海綿状血管腫など脳腫瘍には様々な種類が知られていますが、これらをCT、MRI、血管撮影、RI検査、髄液検査、血液検査などを駆使して診断を行います。摘出術が必要な場合には、術中ナビゲーションシステムを用いた精度の高い顕微鏡下手術を実施しています。また当院の電子カルテ画像システムにはVincentという画像再構成するソフトウェアが装備されており、いつでも見たい時に3D画像を作成し閲覧することができます。これを用いて手術前のシミュレーションが容易に可能となっています。



## 小児

頭部の打撲はたとえ軽くても、小さなお子様の場合、もしかして、、という不安がどうしても残ります。反応が鈍い場合や嘔吐を繰り返す場合はもちろんのこと、比較的元気でもご家族の心配が強い場合には、当院へご連絡ください。またてんかん、奇形疾患、水頭症なども診察しております。当院は善通寺の四国こどもとおとなの医療センターと連携しており、より専門性の高い治療が必要な場合には紹介させていただきます。

## 水頭症、機能的疾患

認知症や歩行障害などでみつかると正常圧水頭症に対しては脳室腹腔シャント手術もしくは腰椎腹腔シャント術が有効です。設定圧を自由に何回でも変更でき、MRI撮影も可能となっています。髄液排除試験（腰椎穿刺により髄液を少量排除）を行い、効果が期待できる場合にシャント手術を行っています。

パーキンソン病や本態性振戦、ジストニアなどでは薬物治療が基本ですが、脳深部刺激術が有効なことがあります。脳卒中後などに手足がつっぱる痙縮は、内服薬以外にもボツリヌス療法も効果的です。またバクロフェン髄注療法(ITB)も効果的な場合があります。慢性難治性疼痛に対して脊髄に微弱な電流を流す脊髄刺激療法(SCS)が有効なケースもあります。

## てんかん

てんかんの専門医は数が少ないため、脳神経外科や小児科、神経内科、精神科など様々な診療科が分担しており、専門的な治療が受けにくい現状があります。当院では、徳島大学病院（四国で唯一のてんかん診療拠点機関）からてんかん専門医が月2回出張し、てんかん専門外来を行っています。毎月第1、3木曜午後ですが、すでに香川県内から多くの患者さんがいらっしやっており、最新の薬物療法や電気刺激療法などを行っています。お困りの患者さんがいらっしやいましたら、ご紹介ください。

### ●オンライン診療(遠隔連携診療)

香川県初の試みとして、てんかんの疑いがある患者さんを対象に、徳島大学のてんかん専門医と連携し、オンライン診療も行っています。できるだけ早く診察を受けたい患者さんや、長距離の移動が負担となる患者さんは、お問い合わせください。日程調整を事前にいたします。

(文責 松原 俊二)

## 外来担当表

外来担当表	月	火	水	木	金
午前 受付・診療/ 8時～11時	庄野 健児	手術・検査	佐藤 悠	庄野 健児	四方 英二
	白川 典仁		白川 典仁	松原 俊二 【血管内治療外来】	松原 俊二
午後 受付・診療/ 13時～16時	新患のみ 要問合せ	手術・検査	新患のみ 要問合せ	第1・3週14時～17時 【てんかん外来】 徳島大学医師 藤原 敏孝	13時30分～16時 四方 英二 【頭痛漢方外来】

## FAX予約を お願いします



患者さんをご紹介いただく際に、地域医療・患者支援センターへ事前にFAX予約をお願いいたします。

受付時間	平日(月～金) 8時30分～18時00分 土曜日 9時30分～13時00分 ※土曜日はFAX予約受付のみ
電話	(087)813-7171(代表) / (087)813-6699(紹介予約専用)
FAX	(087)813-6799(直通) 0120-834-224(フリーダイヤル  ) ※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております。